

2024.05.26. キリストの犠牲が必要だった

ガラテヤ 2 章 1 9 節から 2 1 節

Leitu 牧師

一緒に祈りましょう。主よ、今朝、あなたの御前に参ります。主よ、私たちの心はへりくだります。あなたが誰であられるかを認識し、宣言し、あなたにすべての称賛と栄光を捧げます。今朝の礼拝の全てを。主よ、私たちの思いと心を、体からの感情を研ぎ澄し、今朝、御言葉の中であなたが私たちにご用意されていることに集中できますように。あなたの御言葉が私たちの中で生き、息づき、私たちの言動、行動がすべてあなたを指し示しますように。主よ、御言葉をありがとうございます。今朝、レイトゥ牧師と共にいてくださいますか？ 彼が御言葉を伝える時、御力と勇気と、聖霊だけがお与えになれる大胆さを彼に与えてください。私たちに語ってください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。レイトゥ牧師：アローハ！会衆：アローハ！ ご着席ください。この礼拝堂（聖域）におられる皆さん、オンラインの皆さんも、日曜日の第二礼拝へようこそ。JD 牧師はまだ休暇中ですので、祈り続けてください。主が彼を守りの垣根で覆い、彼の妻ケリーを祝福し癒し続けられますように。日曜日は、2 つの礼拝があって、8 時半からの礼拝は、JD 牧師が戻ってきたら、「聖書預言・アップデート」で、10 時 45 分からの礼拝は、新約聖書を通して学んでいます。週の半ばの学びは、木曜日午後 7 時からです。旧約聖書「ダニエル書」を学びます。毎月第一火曜日、午後 7 時から、ここ礼拝堂（聖域）で、私たちは集まり、教会全体で祈りを捧げます。明日、月曜日、2024 年 5 月 27 日は、戦死した英雄を追悼するメモリアルデーです。このメモリアルデーの週末に、戦死した英雄たち、彼らの奉仕と犠牲を覚え、敬意を表したいと思います。自由は簡単には訪れません。わが国が自由であり続けるために、多くの人々が命を捧げてきました。愛する人を亡くされた方々、オンラインの皆さんのために、イエス・キリストの慰めを祈ります。メモリアルデーの週末が平安で祝福されますように。この偉大な国を形作った英雄たちを感謝し覚えますように。先週は、パウロがパリサイ人や未信者たちの不条理な質問や発言に答えるのを見ました。

「あなた方ユダヤ人は、自分たちが育った宗教のユダヤ教を捨てた罪びとではないのか？」「モーセの律法を捨てることで、イエスは人々を罪へと導いていないのか？」どちらの質問に対する答えも「ノー」です。今週は「ガラテヤ人への手紙」2 章の残りを学びます。このメッセージのタイトルは、『キリストの犠牲が必要だった。』始める前に祈りましょう。

天のお父様、私たちはあなたの御前に参り、あなたの御言葉を感謝します。主よ、私たちはあなたの御言葉を愛します。御言葉は私たちを教え導く、あなたの子ら私たちへのラブレターです。主よ、あなたの御前に参り感謝します。あなたは御言葉を通して、私たちに語られたいことを見る目と聞く耳をいつも与えてくださいます。ですから主よ、あなたの御言葉をありがとうございます。今日、私たちを導き、案内し、教えてください。JD 牧師とケリーのために、あなたの守りの垣根で彼らを覆われることを祈ります。主よ、ケリーが癒されますように。主よ、この国のために尽くし愛する人を失った家族のために、今日、彼らの上にあなたの祝福と、平安と慰めがありますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

この世では、タダのものは何もないと私たちは思い込まされてきました。得るためには与えなければならぬと。宗教も同じです。私たちが知る宗教も知らない宗教もたくさんあり、宗教の信仰は互いに対立し、教理が対立します。誰が真理を語っているのか？ 世界はどのように創造されたのか？ どうやって私たちは信用できるのか？ 死後の世界についての真理に私たちは誰を信頼できるのか？ 私たちは死んだらどうなるのか？ 世のすべての宗教は、天国へ行くための行い、律法や儀式を守ることに依存します。仏教やヒンズー教はニルヴァーナ（涅槃）と呼びます。別の存在として地球に戻る輪廻転生があります。先週話したように、キリスト教は孤立しています。キリスト教とは、真の生ける神との真の愛の関係です。律法、伝統、習慣への服従に基づく宗教ではありません。クリスチャンは、神とのつながり、絆、愛が錨です。永遠に続く結合の接着剤です。私たちはイエスに人生を捧げる前、いつも死を心配しました。実際、私たちは死について何度も考えました。イエスを知り、イエスに身を委ねた今、私たちはイエスの友となりました。私たちは今、神の友です。聖霊が来て、私たちの内に内住され、私たちは新しくなりました。ガラテヤの信者たちにも同じことが起こりました。彼らは天国が自分たちの永遠の家だと疑いもなくわかっていました。彼らはそれを神が御言葉によって約束されたから知っていました。パウロが聖書の真理を彼らに説明したからで

す。パウロはこんにち、私たちにも真理を伝え続けます。「ガラテヤ人への手紙」2章19節から始めます。文脈上18節から読み返します。

ーガラテヤ 2：18ー

もし自分が打ち壊したものを再び建てるなら、私は自分が違反者であると証明することになるのです。

ーガラテヤ 2：19ー

しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。

NLT 訳(英語版)ではこうです。

ーガラテヤ 2：18ー (NLT 訳直訳)

むしろ、すでに壊した古い律法のシステムを再構築するなら、私は罪びとなのです。

ーガラテヤ 2：19ー (NLT 訳直訳)

私が律法を守ろうとしたとき、律法は私を責めました。ですから私は律法に対して死にました。

律法のすべての条件を満たそうとするのをやめ、私は神のために生きることにしました。

ユダヤ教のパリサイ人として、パウロが出世のために努力した人物であったのは想像できます。「ストライブ/strive」という単語は、何かを達成するために多大な努力をすることを意味します。パウロはユダヤ教で大祭司になる可能性がありました。パウロは神への熱意を持ち、自分の召しのために懸命に取り組みました。パウロは大胆で、神から授かった聡明な頭脳を持っていました。パウロが改宗したとき、聖霊が中に入られました。時が経つにつれ、パウロは聖霊の促しに頼ることを学びました。以前は、いつも自分の方法で物事を進めようとしていました。試練を通して、パウロは神の御霊が「特定の道」を示されることを学びました。私たちが主との歩みにおいて、聖霊の導きに従い、聖霊の邪魔をしないようお勧めします。私は自分の方法で物事を試みることで有罪です。それを証明する傷跡があります。クリスチャンとして痛みを伴う教訓でしたが、それを通じて成長できました。使徒パウロは、ユダヤ教が絶えず彼の思いに叩き込んだ罪悪感から解放されました。パウロは今、自由で神を敬い、真に神を礼拝し、神に仕えます。19節で、パウロはモーセの律法を守ろうと苛立ったことを回想します。混乱と不安をもたらすだけでした。宗教指導者として、パリサイ人として、喜びはありませんでした。救われる前、パウロは十字架の敵でした。イエスが登場すると、パウロはこのクリスチャンたちと戦うために行動に移しました。その熱心さは、信者を狩り、迫害し、死刑にさえしました。同胞のユダヤ人を死に追いやることは、パウロの心を傷つけたに違いありません。パウロはイスラエルという国を愛し、その民を愛しました。しかし、パウロの宗教への熱意は、そうその熱意が、神の御心を見えなくしました。ですから、パウロが改宗した時、そのすべての律法や伝統に従おうとするのをやめました。パウロは基本的にユダヤ教に死に、ユダヤ教はもはや彼の人生を束縛しなくなりました。もはや罪悪感や非難が彼を苦しめることは無くなりました。パウロは自由に愛し、残りの人生を神に仕えました。パウロは、主イエスの犠牲によって自分の罪がすべて完全に取り除かれたのを知ります。パウロにとって、咎めからの解放と喜びは計り知れませんでした。「喜び」という言葉は、キリスト教において特別な意味を持ちます。「幸せ」は一瞬しか続かず、消えてしまいます。「主の喜び」は、それは揺るぎないイエスとの絆です。「喜び」は状況によって変わりません。私たちが幸せであろうとなかろうと、「喜び」は続き、不動です。私たちの「喜び」は変わりません。ある瞬間が「幸せ」でも、ヨブのように突然悲劇が襲うことがあります。ヨブが主の喜びを知っていたのは、彼が神を愛していたからです。ヨブが誠実に評判の人であったので、神が彼を喜ばれたのがわかります。ですから神は、サタンにヨブを試すことを許されましたが、サタンはヨブに指一本触れることはできませんでした。ヨブの人生は順調でしたが、突然、一瞬のうちに子供たち全員と財産すべてを失いました。悲劇に見舞われても、ヨブは決して神を捨てませんでした。ヨブの妻は、「神を呪って死になさい。」と言いました。(ヨブ 2：9 参照)

ヨブの友人たちは、災いの原因としてヨブの罪を非難し、ヨブが罪を隠していると主張しました。「ヨブ記」1章21節、22節、

ーヨブ 1 : 2 1ー

そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また裸でかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

ーヨブ 1 : 2 2ー

ヨブはこれらすべてのことにおいても、罪に陥ることなく、神に対して愚痴をこぼすようなことはしなかった。

周囲が何と言おうと、ヨブは主への信仰と喜びを失いませんでした。ヨブの友人たちや妻でさえ、ヨブが経験している霊的攻撃に気付きませんでした。ヨブは、自分を愛し、自分の性格を信頼する神が、自分を苦しめるのをサタンに許されたことを知りませんでした。神は、ヨブというこの人が揺るぎないことをサタンに証明されました。ヨブの妻は、おそらく神が手を差し伸べようとされていた誰かだったのでしょう。「神を呪いなさい」という彼女の発言は、彼女が神を知らないことがはっきりわかります。真の信仰者は決して神を呪ったりはしません。このすべてにおいて、ヨブは神を責めるといふ、罪を犯しませんでした。彼の主にあつての喜びは、揺るぎませんでした。ヨブはこう言います。「ヨブ記」19章25節から27節、

ーヨブ 19 : 2 5ー

私は知っている。私を贖う方は生きておられ、ついには、土のちりの上に立たれることを。

ーヨブ 19 : 2 6ー

私の皮がこのように剥ぎ取られた後に、私は私の肉から神を見る。

ーヨブ 19 : 2 7ー

この方を私は自分自身で見ると。私自身の目がこの方を見る。ほかの者ではない。私の思いは胸の内で絶え入るばかりだ。

ですからヨブは、主にあつての喜びがヨブの力でした。その喜びがヨブに彼の人生を神のために生きさせました。子供たちが生きていた良い時であったとしても、全てを失ったとしても、口やかましい妻であつても、ヨブは、、、ー（笑）ー ヨブは決して喜びを、神への愛の確信を失いませんでした。クリスチャンの私たちの人生に逆境が訪れた時、ヨブのように、私たちの喜びが変わらないよう祈ります。トラブルが起こるのは楽しくはありませんが、私は神の御言葉を知っています。神の御言葉は語ります。神を愛する人たちのためには、神がすべてのことがともに働いて益となります。(ローマ 8 : 2 8 参照)

サタンに打たれる前のヨブは裕福で、金持ちでした。神はヨブが失ったすべてを回復されました。新しい家族と富を取り戻しました。再度、幸せは束の間ですが、主にあつての喜びは永遠に続く堅固な土台です。ですから、主の喜びがパウロの力でした。パウロは神のために生き、3回の伝道旅行を成し遂げました。パウロは行くところのどこでも教会を始めました。パウロは迫害され、嵐に襲われ、死ぬよう放置もされました。主は彼を生き返らせました。パウロは、何度も難破しました。パウロは、ユダヤ人の同胞ユダヤ主義者たちと絶えず闘いました。パウロが書いたのは、「ローマ人への手紙」「第一、第二コリント人への手紙」「ガラテヤ人への手紙」「エペソ人への手紙」「ピリピ人への手紙」「コロサイ人への手紙」「第一、第二テサロニケ人への手紙」「第一、第二テモテへの手紙」「テトスへの手紙」「ピレモンへの手紙」最後に、ほとんどの人が信じています。私もです。「ヘブル人への手紙」をパウロは書きました。パウロのヘブル語の名はサウロで、これは神に祈る、神を尋ね求めるという意味です。息子の将来を願う両親の祈りに神は応えられました。信じる私たちにとってパウロは尊敬に値する巨匠です。パウロの宣教と書簡は、神についての基礎、重要な教理的真理を私たちに教えました。パウロは、自分の古い方法はイエスとともに十字架につけられ、自分の人生は自分自身のものではないと語ります。彼は、自分のうちに生きておられるキリストのものである。パウロは、神から与えられた召しを果たすために懸命に働きました。「第二コリント人への手紙」5章11節から12節、パウロは語ります。

ーIIコリント 5 : 1 1ー

そのため、主を恐れることを知っている私たちは、人々を説得しようとしています。私たちのことは、神の御前に明らかです。しかしそれが、あなたがたの良心にも明らかになることが、私の望みです。

ーII コリント 5 : 1 2ー

私たちは、またしてもあなたがたに自分を推薦しているではありません。むしろ、あなたがたに私たちのことを誇る機会を与え、心ではなくうわべを誇る人たちに応じられるようにしたいのです。

パウロは宣教において、誠実に仕えました。私は「誠実・品位」という言葉が大好きです。クリスチャンになる直前に私を主に導いてくれた人に、私はこう尋ねました。「なぜ同僚たちはあなたほど働かないのか？」彼はこう言いました。「レイトゥ、それは誠実さの問題だ。」ですから、私はこの言葉をいつも覚えています。大好きな言葉の1つです。パウロはその宣教において、誠実に奉仕しました。多くの人々は、キリスト教を、、、多くの人々は、キリスト教を金持ちになるための手段だと考えました彼らは人々の世話をせず、養いませんでした。彼らの動機は名声と富でした。それはパウロの心ではありませんでした。私は、JD 牧師と共に仕え 20 年です。私は JD 牧師の神への大きな愛を見てきました。また、JD 牧師の気遣い、愛、そして神の民への牧会を見てきました。また、JD 牧師がこの主の教会を激しく守るのを見てきました。私たち皆、JD 牧師がアラブ人であることを知っています。アラブの民族性、、偽教師たちがこの教会にこっそり入り込もうとすると、JD 牧師はキレます。JD 牧師の愛と誠実さのおかげで、神がこのミニストリーを祝福してくださっていることを私は知っています。あなたが主に仕えるなら、そして今仕えているなら、心を尽くし、思い(知性)を尽くし、魂(いのち)を尽くして主に仕えるよう祈ります。(マタイ 22 : 37 参照)

「ガラテヤ人への手紙」2 章 20 節、今日の箇所をお読みします。

ーガラテヤ 2 : 2 0ー

もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。

先週、礼拝前、私のパソコンに技術的問題があり、礼拝の間もそうでした。聖霊の内住に関して伝えようとしていた重要な点を見逃しました。ごめんなさい。ですから、今日、再度取り上げ、完結したいのです。今日の学びの 20 節で、パウロはこう言います。「もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。」(ガラテヤ 2 : 20 参照)

パウロは彼に内住された聖霊を言及します。2 週間前、ニコデモとイエスとの出会いについて話しましたね。「ヨハネの福音書」3 章を読み、イエスがニコデモに「新生/生まれ変わる」の意味を説明される箇所をもう一度見てみましょう。この会話の中で、イエスは聖霊を「風」として表現されます。(「ヨハネの福音書」3 章) 3 節から始めます。

ーヨハネ 3 : 3ー

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

ーヨハネ 3 : 4ー

ニコデモはイエスに言った。「人は、老いていながら、どうやって生まれることができますか。もう一度、母の胎に入って生まれることなどできるのでしょうか。」

ーヨハネ 3 : 5ー

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」

ーヨハネ 3 : 6ー

肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。

一ヨハネ 3 : 7一

あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。

一ヨハネ 3 : 8一

風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです。」

5 節で、イエスはこう仰います。「人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」「水によって生まれる」とは、母の胎内から初めて生まれることを指します。羊膜が破れ、そして子供が生まれます。イエスは 6 節でこのことを確かにされこう仰います。「肉によって生まれた者は肉です。」イエスはまた 5 節でこう仰る「人は、水と御霊によって生まれなければならない。」は、イエスは神、聖霊を指しておられます。イエスは、聖霊が新たな信者に入られるというこの聖書真理を断言されます。6 節で、イエスは仰います。「御霊によって生まれた者は霊です。」この箇所、聖霊は「風」に例えられ、風として表現されます。8 節で、イエスは仰います。「風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。」風を見れませんが、感じたり、その影響を見ることが出来ます。ハワイの椰子の木を見てると、風の影響がよくわかります。オハイオにいるあなたのために。一 (笑) 一 風の行くところはわかりませんが、その影響はわかります。イエスが仰っているのは、私たちが風を見ることはできないように、人が新生/生まれ変わるときも同じで、聖霊がその人の内に入れ、内住されるのを私たちは見ることはできません。聖霊が新生/生まれ変わった人に及ぼす影響、変化し、祝福された人生の結果を見ることが出来ます。アルコール依存症患者は酒を止め、薬物中毒者は薬を止めます。新たな信者は、悪態をつくのをやめます。泥棒は盗むのをやめます。夫と妻は互いに愛をもって接し始めます。初めて出会ったときよりも素晴らしい愛で。神はあなたを変えられるだけでなく、私たちとの約束を決して破らず守られます。聖霊が新たな信者に内住されるとき、神が私たちに約束してくださることをいくつか挙げたいと思います。「テトスへの手紙」3 章 4 節から 5 節は語ります。

一テトス 3 : 4一

しかし、私たちの救い主である神のいつくしみと人に対する愛が現れたとき、

一テトス 3 : 5一

神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみによって、聖霊による再生と刷新の洗いをもって、私たちを救ってくださいました。

聖霊があなたの罪を赦され、洗い流してくださり、あなたはこの新しいのちを受け取ります。新生/生まれ変わると、今までになかったように、神を見ます。「第二コリント人への手紙」5 章 17 節、毎週この節を私がお読みすることをお気付きだと思います。私のお気に入りの 1 節です。

一II コリント 5 : 17一

ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

あなたはもはやこの世の様式に従って生きません。罪と罪への魅力は、あなたの思いの中で小さくなり始めます。あなたは神と神のことに對し飢え渇き始めます。あなたは新しく創造された者となります。主イエスを愛し、生き、仕えます。罪悪感と罪の重さがなくなります。そして神はあなたを証印されます。「エペソ人への手紙」1 章 13 節から 14 節は語ります。

一エペソ 1 : 13一

このキリストにあつて、あなたがたもまた、真理のことは、あなたがたの救いの福音を聞いてそれを信じることにより、約束の聖霊によって証印を押されました。

ーエペソ 1 : 1 4ー

聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。このことは、私たちが贖われて神のものとされ、神の栄光がほめたたえられるためです。

聖霊があなたを証印されるとは、あなたが新しい所有者の下にあるという意味です。あなたは今、イエス・キリストのもので、先週話したように、悪魔の支配下に置かれるよりも、イエスの支配下に置かれる方がずっと良いです。聖霊が保証してくださるからです。私たちが受け取る相続が祝福された人生だけでなく、私たちの最終目的地が天国であることを。この約束は揺るぎなく不動であり、私たちの信仰に確固たる土台を与えます。聖霊はあなたを神の御前に導いてくださいます。聖霊はまた、神の御言葉、聖書への理解を与えてくださいます。「第二テモテへの手紙」3章16節は語ります。

ーII テモテ 3 : 1 6ー

聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

ーII テモテ 3 : 1 7ー

神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

神は、見る目と聞く耳と、神の御言葉、聖書を理解する思考/思いを与えてくださいます。聖霊は、神に仕えるための特別な賜物も与えてくださいます。その賜物に従うとき、主は他の人々をあなたのもとに遣わし、祝福してくださるので、あなたの賜物と才能で、彼らに奉仕することができます。イエスを信じる者として、私たちは決して罪から解放されることはありません。それは天国に行ったときにしか起こり得ません。私たちは自分の中でこの戦いを続けます。天国では、罪は存在し得ません。今朝、マック牧師が語ったように、神は光であり、神には闇が全くありません。(Iヨハネ 1 : 5)

天国では苦しみも痛みもなく、それが永遠に続きます。使徒パウロは、手放さない、あるいは手放せないある罪と闘っていました。その罪が何であったかはわかりませんが、パウロが振り払うことのできないといげでした。「ローマ人への手紙」7章にそのことが書かれていますが、「ローマ人への手紙」8章も読みたいと思います。罪と闘い続けるクリスチャンの私たちにとって、祝福となるのが分かります。「ローマ人への手紙」7章は、すでに救われ、新生/生まれ変わったけれど、罪と闘う使徒パウロを記します。14節から始めます。これは使徒パウロが書いています。

ーローマ 7 : 1 4ー

私たちは、律法が霊的なものであることを知っています。しかし、私は肉的な者であり、売り渡されて罪の下にある者です。

ーローマ 7 : 1 5ー

私には、自分のしていることが分かりません。自分がしたいと願うことはせずに、むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。

ーローマ 7 : 1 6ー

自分のしたくないことを行っているなら、私は律法に同意し、それを良いものと認めていることになりました。

ーローマ 7 : 1 7ー

ですから、今それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪なのです。

ーローマ 7 : 1 8ー

私は、自分のうちに、すなわち、自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。私には良いことをしたいという願いがいつもあるのに、実行できないからです。

ーローマ 7 : 19ー

私は、したいと願う善を行わないで、したくない悪を行っています。

ーローマ 7 : 20ー

私が自分でしたくないことをしているなら、それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪です。

ーローマ 7 : 21ー

そういうわけで、善を行いたいと願っている、その私に悪が存在するという原理を、私は見出します。

「アーメン」ですね？ 会衆：アーメン！そして、パウロは語ります。

ーローマ 7 : 22ー

私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいますが、

ーローマ 7 : 23ー

私のからだには異なる律法があって、それが私の心の律法に対して戦いを挑み、私を、からだにある罪の律法のうちにとりこにしていることが分かるのです。

ーローマ 7 : 24ー

私は本当にみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。

ーローマ 7 : 25ー

私たちの主イエス・キリストを通して、神に感謝します。こうして、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。

パウロは自分の質問に答えます。「だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。」（ローマ 7 : 24 参照）

パウロは 25 節でこう言います。「イエスが答え」だと。8 章 1 節で、パウロは、イエスの犠牲が私たちを自由にされたので、もう非難/罪の咎めはないと書きます。そしてパウロは、聖霊の御力で導かれたクリスチャンとしての私たちの生活について述べます。（「ローマ人への手紙」8 章）1 節から始めます。

ーローマ 8 : 1ー

こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

ーローマ 8 : 2ー

なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。

ーローマ 8 : 3ー

肉によって弱くなったため、律法にできなくなったことを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪深い肉と同じような形で、罪のきよめのために遣わし、肉において罪を処罰されたのです。

「第一ヨハネの手紙」1 章 9 節にあるように、私は皆さんを励ましたいのです。再度、私たちクリスチャンは皆罪を犯します。しかし、私たちが告白するとき、神は赦してくださいます。再び、「第一ヨハネの手紙」1 章 9 節、

ーI ヨハネ 1 : 9ー

もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。

当時、そして現代でも、こう主張する人がいます。ヨハネが述べる信仰や考え方は、私たちに自由に罪を犯し、好きなことをする許可を与えるだけであると。未信者が罪と闘わないことを私たちは知っています。彼らはただ好きなこと（罪）を行い、楽しめます。私たちはそこにいました。すべてのクリスチャンは罪と闘います。信仰者として残念なことに、私たちが捨てた古い生活は、こんにちでも私たちを苦しめます。しかし、本当に救われた信者は、罪を習慣化することはありません。もちろん、私たちの罪はまだ私たちの心を傷つけますが、私たちは神の恵みを理解します。新生/生まれ変わることで、真理と誠実さを求める新たな心と思い、神を称え、愛し、敬い、礼拝する新たな心と思いが与えられます。私たちは罪に誘惑されますが、私たちが罪を追いかけません。聖化は難しい言葉ですが、その意味は奮起させること。「第二コリント人への手紙」3章18節には、聖化の働きがわかります。

—II コリント 3：18—

私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたち姿を変えられていきます。

これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。NLT 訳(英語版)ではこうです。

—II コリント 5：1— (NLT 訳直訳)

私たちは知っています。「私たちが住むこの地上の幕屋（体）が取り払われるとき、・・・(つまり、私たちが死んでこの地上の肉体を離れるとき)、・・・私たちは天に家があって、人間の手ではなく神ご自身が造られた永遠の体を持ちます。

—II コリント 5：2— (NLT 訳直訳)

私たちは今の肉体に疲れ果て、新しい衣のように天の体を身につけることを切望します。

—II コリント 5：3— (NLT 訳直訳)

私たちは天の体を身につけるので、体のない霊にはなりません。

—II コリント 5：4— (NLT 訳直訳)

この地上の肉体に生きている間、私たちはうめき、ため息をつきますが、しかし、私たちは死にたいわけではなく、私たちが着ているこの肉体を捨てたいわけでもありません。むしろ、死にゆく肉体が命に飲み込まれるように、新しい体を身につけたいのです。

—II コリント 5：5— (NLT 訳直訳)

神ご自身が私たちのために用意してくださり、その保証として聖霊を与えてくださったのです。

—II コリント 5：6— (NLT 訳直訳)

だから私たちはいつも確信します。この肉体の中で生きる限り、主とともに家にいることはできないとわかっていても。

—II コリント 5：7— (NLT 訳直訳)

私たちは見ることによって生きるのではなく、信じることによって生きるのです。

—II コリント 5：8— (NLT 訳直訳)

もちろん、私たちは完全に確信します。私たちはこの地上の肉体から離れるのを望みます。そうすれば、私たちは主のもとに帰れるのだから。

—II コリント 5 : 9— (NLT 訳直訳)

だから、私たちがこの肉体の中によようと、この肉体から離れていようと、私たちの目標は主を喜ばせることです。

最後に、「ガラテヤ人への手紙」2章21節、

—ガラテヤ 2 : 21—

私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

しかし、イエス・キリストとその犠牲が必要でした。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。」(ヨハネ 3 : 16)

人類が、神のご方法、恵みによって、恵みだけによって救われるために。「第一コリント人への手紙」15章12節から読みたいと思います。

—I コリント 15 : 12—

ところで、キリストは死者の中からよみがえられたと宣べ伝えられているのに、どうして、あなたがたの中に、死者の復活はないと言う人たちがいるのですか。

—I コリント 15 : 13—

もし死者の復活がないとしたら、キリストもよみがえらなかったでしょう。

—I コリント 15 : 14—

そして、キリストがよみがえらなかったとしたら、私たちの宣教は空しく、あなたがたの信仰も空しいものとなります。

—I コリント 15 : 15—

私たちは神についての偽証人ということにさえなります。なぜなら、かりに死者がよみがえらないとしたら、神はキリストをよみがえらせなかったはずなのに、私たちは神がキリストをよみがえらせたと言って、神に逆らう証言をしたことになるからです。

—I コリント 15 : 16—

もし死者がよみがえらないとしたら、キリストもよみがえらなかったでしょう。

—I コリント 15 : 17—

そして、もしキリストがよみがえらなかったとしたら、あなたがたの信仰は空しく、あなたがたは今もなお自分の罪の中にいます。

—I コリント 15 : 18—

そうだとしたら、キリストにあって眠った者たちは、滅んでしまったこととなります。

—I コリント 15 : 19—

もし私たちが、この地上のいのちにおいてのみ、キリストに望みを抱いているのなら、私たちはすべての人の中で一番哀れな者です。

—I コリント 15 : 20—

しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。

イエス・キリストを信じる私たちは、その大いなる収穫です。イエスが私たちの罪のために経験された痛みや恥で私たちはその痛みと恥辱を悲しみますが、しかし、御父が私たち、御父の子たちへの大きな愛、ひとり子をお与えになったことを

私たちは知っています。「第一コリント人への手紙」同じ章の後半、47 節から 58 節で、パウロはこう書きます。

—I コリント 15 : 47—

第一の人（アダム）は地から出て、土で造られた人ですが、第二の人（キリスト）は天から出た方です。

—I コリント 15 : 48—

土で造られた者たちはみな、この土で造られた人に似ており、天に属する者たちはみな、この天に属する方に似ています。

—I コリント 15 : 49—

私たちは、土で造られた人のかたちを持っていたように、天に属する方のかたちも持つことになるのです。

—I コリント 15 : 50—

兄弟たち、私はこのことを言うておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。

—I コリント 15 : 51—

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。

—I コリント 15 : 52—

終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

—I コリント 15 : 53—

この朽ちるべきものが、朽ちないものを必ず着ることになり、この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになるからです。

—I コリント 15 : 54—

そして、この朽ちるべきものが朽ちないものを着て、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、このように記されたみことばが実現します。「死は勝利に呑み込まれた。」

—I コリント 15 : 55—

「死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。」

—I コリント 15 : 56—

死のとげは罪であり、罪の力は律法です。

—I コリント 15 : 57—

しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。

「携挙」について初めて聞いたのは、私が救われたばかりのとき、24年前でした。最初は、この教理をど

う理解すれば良いのかわからず、以前に全く聞いたことがありませんでした。しかし、こんにち、私は心から「携挙」を信じています。まもなく起こることを知っています。私たちカルバリー・カネオへは、忠実に聖書の指示に従います。神からだからです。教理が聖書になれば、私たちはそれを実践しません。「携挙」は聖書に書かれており、私たちはそれを信じます。携挙と、この差し迫った聖書の事象に関する真理について確信が持てないのは、あなただけではありません。未信者は携挙について聞いたことがあり、聖書をさらにあざけります。彼らの愚かな不信仰を増強する攻撃材料を増やすだけです。同様に携挙を信じないクリスチャンもたくさんいます。「携挙」という言葉は聖書にはありませんが、しかし、こう言い換えられます。

「引き上げられる/caught up」(Ⅰテサロニケ 4 : 17)、「取られる/taken」(創世記 5 : 24)、「上って行く/went up」(Ⅱ列王記 2 : 11)

以前にも話したように、パウロは優秀な学生で、当時最も尊敬され最高の教師でラビだったガマリエルから学びました。パウロは読書家で、驚異的な記憶力があつたに違いありません。パウロはスポンジのように、学ぶことをすべて吸収していたに違いありません。聖書とイエスをこの世にもたらすために、ユダヤ人が神に選ばれたことを私たちは知っています。生まれる前から、神が私たちをご存知だったように、神はパウロが生まれる前から、すでにパウロをご存知で、彼のためにこの計画をお持ちでした。最高の学校、最高の教師、驚異的な頭脳と記憶力、自分の召しを遂行する大胆さと熱意、すべて神によって振り付けられ、与えられました。天と地を創造される前から、人類に対する御計画を成就させるために。私がいつも話すように、神は全能で、すべてをご存知です。天国には時間はなく、永遠だけです。神は宇宙の出発点として時間を創造され、それには終わりがあります。その間のすべてを、神は初めから終わりまでご存知です。時間の外のすべても神の領域であり、天国はその一部です。「第一コリント人への手紙」15章、「第一テサロニケ人への手紙」4章の他に、聖書の中で他に誰も、どこにも、携挙について言及する箇所はないのか？ 携挙について、聖書の前例はあるのか？ はい、あります。旧約聖書にそれ(携挙)があります。「創世記」5章24節、

一創世記 5 : 24一

エノクは神とともに歩んだ。神が彼を取られたので、彼はいなくなった。

「第二列王記」2章11節と12節、

一Ⅱ列王記 2 : 11一

こうして、彼らがなお進みながら話していると、なんと、火の戦車と火の馬が現れ、この二人の間を分け隔て、エリヤは竜巻に乗って天へ上って行った。

二人(エノクとエリヤ)とも携挙されました。私たちはこの事実を知っています。聖書に予告されている預言はすべて、100%正確に実現しました。まだ起こっていない預言は、この先未来だけです。イエスの来臨もその一つです。イエスと3年間一緒にいた使徒ペテロは、「第二ペテロの手紙」1章20節から21節にこう書きます。

一Ⅱペテロ 1 : 20一

ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。

一Ⅱペテロ 1 : 21一

預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

新生/生まれ変わった私たちは、神の愛と祝福を経験しました。私たちは疑いなく、真の生ける神との真の関係を体験していることを知っています。神が私たちを変えてくださいます。神が私たちを導いてくださいます。神は私たちを無条件に愛してくださいます。喜びと平安は、神が私たちに与えてくださる賜物の一部です。試練の中でさえ、私たちが知っているのは、神は私たちが思っておられ、私たちは神の御心の中にいること。携挙の前にこの世を去ったとしても、私たちはクリスチャンとして勝利します。永遠に私たちは(天

の) 家にいます。私たちは罪も痛みもなく天国で存在します。主イエスよ、早く来てください。私たちを家に連れて行ってください。聖徒の皆さん、元気を出してください。もうすぐ家に帰ります。アーメン！（会衆：アーメン！）

ご起立ください。祈りましょう。

天のお父様、私たちはあなたの御座の前に参ります。主よ、御言葉とあなたの子たちへの偉大で素晴らしい愛に感謝します。私たちは大変祝福されています。主よ、葛藤する私たちのために、ただ、あなたの御前に参り祈ります。彼らの人生であなたがしておられることが何であろうと、あなたを愛し、あなたの目的に従って召された人たちのためには、すべてのことがともに働いてが益となることを、私たちは知っています。（ローマ 8：28参照）

ですから、傷ついた人たちのために祈ります。彼らがただ頭を上げ、あなたを仰ぎ見、あなたとの関係を堅く保ち、あなたの御言葉、あなたの指導書、あなたのラブレターの、聖書を読み続けるように祈ります。あなたの御前に参り、祈ります。この礼拝堂（聖域）にいる、オンラインにいる人で、あなたを知らない人々が遅らせませんように。彼らが心をあなたに委ねますように。主よ、永遠に行き着く場所は1つ、2つの内のどちらかしかありません。一方は天国で、他方は地獄です。イエスを知らない人たちが、イエスに救いを呼び求めることで天国を選びますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7